

第 1 問 答案用紙 <1>
(経 済 学)

問題 1

問 1

$$\frac{a}{2\sqrt{y}} + \frac{b}{2\sqrt{y}} = 2$$

問 2

$$y^* : \frac{9}{4}$$

問 3

$$y_A(t_A) : \frac{1}{t_A^2}$$

$$y_B(t_B) : \frac{4}{t_B^2}$$

問 4

$$t_A^* : \frac{2}{3}$$

$$t_B^* : \frac{4}{3}$$

問 5

$$x_A^* : \frac{5}{2}$$

$$x_B^* : 1$$

$$u_B^* : 7$$

問 6

$$t_A^{**} : \frac{4}{5}$$

$$t_B^{**} : \frac{6}{5}$$

$$y^{**} : \frac{25}{16}$$

$$x_B^{**} : \frac{17}{8}$$

問 7

リンダール均衡は、各個人が自己の真の効用を正直に表明するという前提があつて初めて成立し、公共財の最適供給量が達成される。しかし、公共財の非競合性、及び特に非排除性により各個人は料金を支払わずとも消費が可能であるため、フリーライダー(ただ乗り)の誘因が存在する。例えば本問では、消費者 B が問 6 で自己の効用を問 3 より過小に申告することで、自己の負担額を小さくし効用水準を高めることができる。このように個人の合理的な主体的行動の帰結としてリンダール均衡の前提が崩れることとなり、公共財の過少供給が生じ最適供給量の達成は困難である。

第 1 問 答案用紙 <2>
(経 済 学)

問題 2

問 1

$(P_A^*, X_A^*) :$

(120, 20)

$(P_B^*, X_B^*) :$

(70, 30)

問 2

$P^{**} :$

80

$X_A^{**} :$

30

$X_B^{**} :$

20

問 3

グループ A の価格弾力性 :

$\frac{2}{3}$

グループ B の価格弾力性 :

4

問 4

一般に、企業が市場価格を引き上げたとき、需要の価格弾力性の絶対値(以下 ε と表記する)が 1 であれば総収入は不変、 ε が 1 より大きければ総収入は減少、 ε が 1 より小さければ総収入は増加する。

問 5

問 1 から問 2 へ総生産量は不変であるから総費用も不変であり、価格差別が不可能になることによる利潤への影響は専ら総収入の変化による。ここで、グループ A の市場では価格の引き下げとともに $\varepsilon > 1$ から $\varepsilon = 1$ を経て $\varepsilon < 1$ に至るため結果的に同額の総収入の増減が生じて総収入は不変である。一方、グループ B の市場では価格の引き上げとともに一貫して $\varepsilon > 1$ であり総収入が減少し、本問では 500 の減少となる。

第2問 答案用紙 <1>
(経済学)

問題 1

(ア) 労働力人口

(イ) 非労働力人口

(ウ) 完全失業者

(エ) 労働力(人口比)率

(オ) 流動性のわな

(カ) 金融緩和

問題 2

(1) 正 (誤)

誤っている理由

インフレギャップの場合は政策金利の引き下げではなく引き上げであり，逆にデフレギャップの場合は政策金利の引き上げではなく引き下げであるから。

(2) 正 (誤)

誤っている理由

対外証券投資は資本利得の獲得等のための投資であり，本問のような投資は対外証券投資ではなく対外直接投資であるから。

問題 3

問 1

8.0

%

問 2

950

問 3

$q = 3$

問題 4

問 1

$$\tau C_1 + \frac{\tau C_2}{1+r} = 75 + \frac{76.5}{1+r}$$

問 2

$\tau = 0.25$

第2問 答案用紙 <2>
(経済学)

問題 5	問 1	$L = 50$	問 2	$k^* = 1$
------	-----	----------	-----	-----------

問 3	貯蓄率を未知数 s として求めた $k^*(s)$ を用いて, 一人あたり消費 $c(s)$ は, $c(s) = (1-s)\sqrt{k^*(s)}$ となるから, 最大化条件 $\frac{dc(s)}{ds} = 0$, $\frac{d^2c(s)}{ds^2} < 0$ より, $s = 0.5$ を得る。
-----	---

問題 6	問 1	$\pi_1 = 6$	$\pi_2 = 4.5$	$\pi_3 = 3.375$
	問 2	$\pi^* = 0$	$x^* = 0$	
	問 3	$i_t = 1.2\pi_t^e$	$\pi_t = 0.6\pi_t^e$	$x_t = -1.2\pi_t^e$